

令和4年11月那須塩原市議会臨時会議会議録目次

議案審議結果一覧表	1
-----------	---

第 1 号 (11月10日)

議事日程	3
出席議員	4
欠席議員	4
説明のために出席した者の職氏名	4
本会議に出席した事務局職員	4
再開及び開議の宣告	6
議事日程の報告	6
会議録署名議員の指名	6
市長挨拶	6
会議日程等について	7
議案第76号の上程、説明、質疑、討論、採決	7
市長挨拶	14
散会の宣告	14

議案審議結果一覽表

議案番号	件名	提出者	結果
議案第76号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号)	R4.11.10 市長	R4.11.10 可決

令和4年11月那須塩原市議会臨時会議

議 事 日 程 (第1号)

令和4年11月10日(木曜日)午後1時30分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会議日程等について
- 日程第 3 議案第76号 令和4年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号)
(提案説明、質疑、討論、採決)

出席議員（24名）

1番	堤	正	明	議員	2番	三本木	直	人	議員
3番	林	美	幸	議員	4番	鈴木	秀	信	議員
5番	室井	孝	幸	議員	6番	田村	正	宏	議員
7番	森本	彰	伸	議員	8番	益子	丈	弘	議員
9番	小島	耕	一	議員	10番	山形	紀	弘	議員
11番	星野	健	二	議員	12番	中里	康	寛	議員
13番	齊藤	誠	之	議員	15番	星	宏	子	議員
16番	平山		武	議員	17番	相馬		剛	議員
18番	大野	恭	男	議員	19番	鈴木	伸	彦	議員
20番	松田	寛	人	議員	21番	眞壁	俊	郎	議員
23番	齋藤	寿	一	議員	24番	山本	は	る	ひ
25番	玉野		宏	議員	26番	金子	哲	也	議員

欠席議員（2名）

14番	佐藤	一	則	議員	22番	中村	芳	隆	議員
-----	----	---	---	----	-----	----	---	---	----

説明のために出席した者の職氏名

市長	渡	辺	美知太郎	副市長	渡	邊	和	明
副市長	亀	井	雄	教育長	月	井	祐	二
企画部長	小	泉	聖一	総務部長	小	出	浩	美
総務課長	平	井	克己	財政課長	広	瀬	範	道
市民生活部長	磯		真	気候変動対策局長	黄	木	伸	一
保健福祉部長次	栗	野	誠一	子ども未来部長	田	代	正	行
産業観光部長	織	田	智富	建設部長	富	山	芳	男
上下水道部長	河	合	浩	教育部長	後	藤		修
会計管理者	田	代	宰士	選管・監査・固定資産評価・公平委員会事務局長	八	木	沢	信
農業委員会事務局長	相	馬	勇	西那須野支所長	久	留	生	利
塩原支所長	板	橋	信行					

本会議に出席した事務局職員

議会議務局長 増 田 健 造

議事調査係長 長 岡 栄 治

議事調査係 飯 泉 祐 司

議事課長 相 馬 和 男

議事調査係 室 井 理 恵

議事調査係 伊 藤 奨 理

開議 午後 1時30分

◇

◎再開及び開議の宣告

○議長（松田寛人議員） 皆さん、改めまして、こんにちは。

散会前に引き続き、会議を開きます。

令和4年11月那須塩原市議会臨時会議は、議員各位に御参集いただき、ここに開会の運びとなりました。

本臨時会議には、市長提出として1件の案件が提出されることとなっております。

議員各位には、慎重に審議を尽くされ、また議会運営につきましても、特段の御協力をお願い申し上げます。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時31分

再開 午後 1時32分

○議長（松田寛人議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまから令和4年11月那須塩原市議会臨時会議を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は24名であります。

14番、佐藤一則議員から欠席する旨の届出があります。また、22番、中村芳隆議員からも欠席する旨の届出がございました。

◇

◎議事日程の報告

○議長（松田寛人議員） 本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

◇

◎会議録署名議員の指名

○議長（松田寛人議員） まず初めに、日程第1、会議録署名議員の指名についてを行います。

会議録署名議員に

25番 玉野 宏 議員

26番 金子 哲也 議員

を指名いたします。

◇

◎市長挨拶

○議長（松田寛人議員） ここで、市長から挨拶があります。

市長。

〔市長 渡辺美知太郎登壇〕

○市長（渡辺美知太郎） 本日は、令和4年11月那須塩原市議会臨時会議の開会に当たりまして、議員の皆様には、何かとお忙しい中、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

本日の臨時会議には、市長提案として、令和4年度補正予算案件1件を提出します。

内容としましては、原油価格・物価高騰対応として交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、生活者支援とマイナンバーカード普及促進のための受付事務体制の強化を図るもの。そのほか、海外都市連携事業の実施に関する経費について予算措置を行うものであります。

7月の臨時会議において御決定賜りましたプレミアム付商品券の販売を先日の6日、7日に実施をいたしました。大変御好評いただいたんですけども、渋滞が発生するなど、市民の皆様には御迷惑をおかけしてしまったのですが、用意したも

の9割、12万冊のうち9割御購入をいただきまして、今後市内の経済活動の活性化が期待できるものと思います。

今月は、様々なイベントを予定しておりまして、今週末には、なすしおばらまなび博覧会、26日には西那須野地区を舞台とした、ONSEN・ガストロノミーウォーキングを開催いたします。

ONSEN・ガストロノミーウォーキングは、9月26日の受付から僅か4日間で150人の定員に達するなど、大変人気のあるイベントとなっております、また新型コロナウイルス感染症の状況は油断できないんですが、十分な感染対策を行って、たくさんの方に御来場いただきたいと思っております。

今回提出する案件につきましては、御審議賜りまして、御決定いただけますようお願いいたします、開会に当たっての御挨拶といたします。

◇

◎会議日程等について

○議長（松田寛人議員） 次に、日程第2、会議日程等についてを議題といたします。

本臨時会議に先立ち、議会運営委員会が開催されておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。

議会運営委員長、13番、齊藤誠之議員。

〔議会運営委員長 齊藤誠之議員登壇〕

○議会運営委員長（齊藤誠之議員） 皆さん、こんにちは。

議会運営委員会より御報告いたします。

本臨時会議における日程、議案の取扱い、そのほか議会運営上必要な事項を協議するため、去る11月7日月曜日午前10時より、303会議室において、委員8名、正副議長、市長以下執行部関係者

出席の下、議会運営委員会を開催いたしました。

本臨時会議の会議日程については、本日1日間とし、日程の詳細は、配付された会議日程表のとおりといたします。

本臨時会議に提出される案件は、市長提出案件として、補正予算案件1件であります。これらの案件の取扱いについては、即決扱いといたします。

次に、議案に対する質疑及び討論については、先例のとおり行うこととし、質疑については一問一答方式により、時間は1人15分以内、討論については1議題につき1人10分以内、賛成、反対、それぞれ5人までといたします。

以上が、議会運営委員会における審査の結果となります。

議員各位におかれましては、円滑な議会運営に御協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。

○議長（松田寛人議員） 報告が終わりました。

本臨時会議の会議日程は、ただいまの議会運営委員長報告のとおり、本日1日限りとし、議案の取扱い等についても、議会運営委員長報告のとおりといたします。

◇

◎議案第76号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（松田寛人議員） 次に、日程第3、議案第76号 令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 渡辺美知太郎登壇〕

○市長（渡辺美知太郎） 議案第76号 令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）について、

提案の御説明を申し上げます。

今回の補正予算の内容は、原油価格・物価高騰対応として交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、生活者支援の実施及びマイナンバーカードの普及促進のための受付業務体制の強化を図るもの。このほか海外都市連携事業の実施に関する経費について、予算措置を行うものであります。

歳入歳出それぞれ2億8,022万2,000円を増額し、令和4年度那須塩原市一般会計歳入歳出予算総額を566億773万8,000円とするものであります。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

○議長（松田寛人議員） 説明が終わりました。

本案について質疑を許します。

8番、益子丈弘議員。

○8番（益子丈弘議員） 補正予算の執行計画書になります。そちらの3ページでございます。

4款衛生費、1項5目環境保全費、この中に新規の事業で、省エネ家電等購入促進事業とありますが、内容をお伺いいたします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） この事業は、省エネ性能に優れた家電製品を購入していただいた方に、ある一定の補助をするという事業内容であります。

省エネ性能の優れた家電製品というのは、いわゆるトップランナー制度による性能で、省エネ評価を、何というか、星で小売店が表示しているものなんですけれども、それに対して補助をするというような仕組みになっております。

○議長（松田寛人議員） 8番、益子丈弘議員。

○8番（益子丈弘議員） お答えいただきました。

省エネのものを該当ということであるんですが、

何件ぐらいを想定されてこの予算を組んでいるのかをお伺いいたします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） おおむね、予算の設定上、850件を想定しております。

○議長（松田寛人議員） 8番、益子丈弘議員。

○8番（益子丈弘議員） 850件ということで、了解いたしました。その中で、この850件に該当される方、何かの基準とか該当されるものとか、はじかれてしまうものとか、そういったものが一定の要件があるのか、お伺いいたします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） 交付申請者の要件ということによろしいんですね。

特段要件を設けておりませんけれども、世帯ごとの交付ということなので、1世帯で複数回の交付はできないというだけであって、あとは、製品に対する要件はありますけれども、人に対する補助要件というのはございません。

○議長（松田寛人議員） 8番、益子丈弘議員。

○8番（益子丈弘議員） 要件は1世帯ごとであるということなんです、この予算がもし達してしまつて、それ以上のものがあつたとき、予算がさらに補正されることがあるのか、それともこれで、1回限りで終わりということなのか、その点についてお伺いいたします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） 先ほどの答弁の中で、一応市民が対象だという、そういう基本的な要件がございますので。あと、予算についてなんですけれども、予算に達し次第、受付を終了いたします。次年度のことは今のところ、

何も考えをもってございません。

- 8番（益子丈弘議員） 了解いたしました。
- 議長（松田寛人議員） 7番、森本彰伸議員。
- 7番（森本彰伸議員） 予算執行計画書、2ページのベトナム社会主義共和国カントー市ほか視察ということなんですけれども、こちら視察に参加するのは誰なのかをまずお聞きしたいと思います。
- 議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。
- 企画部長（小泉聖一） ベトナムの視察に参加する方ということなんです、現時点で市長と担当の職員2人ということの、合計3名ということを予定しております。
- 議長（松田寛人議員） 7番、森本彰伸議員。
- 7番（森本彰伸議員） 今回の視察の目的、そしてそこから得られる効果を御説明願います。
- 議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。
- 企画部長（小泉聖一） 今回の視察の目的と得られる効果ということなんですけれども、実は、令和元年度からベトナムのカントー市との相互連携協定というところ、農業であったり、介護であったり、観光であったり、こういうところについて連携ができないかということで、協議を進めてまいりました。

実際は令和3年度には、協定の内容について、ベトナムの外務局のほうも通して、了解は得られたということで、あとは議会の議決をいただいて、協定という運びにはなっていたんですが、新型コロナウイルスの関係で、渡航がなかなかできない、制限があってできないということで、協定まで至っていません。

この10月に、水際対策のほうも緩和されて、渡航も制限がある程度、もう解除されたというところで、今回出向くということなんですけれども、

目的としては、先ほど言いましたように、令和元年から協定を、締結を進めていました、カントー市との協定についての打合せという部分と、それと実は、12月下旬に栃木県でもベトナムとタイのほうに知事がトップセールスで出向くということでございます。

できればそこに相乗りをしたような形で一部行程だけ同行させていただいて、そのトップセールスのやり方、私たち市の職員、まだやったことがないので、分からないので、そういうところのノウハウも覚えたいということも含めて、ちょうどこの時期に行ければということで、今回予算のほうの計上をさせていただいております。

効果としては、先ほど言ったように、市のほうで今までトップセールスの経験がないということではノウハウを受けるといふことと、協定の締結に向けた事前打合せをやってきたということになっております。

- 議長（松田寛人議員） 7番、森本彰伸議員。
- 7番（森本彰伸議員） 介護や農業でも連携することなんですけれども、そうすると人材を受け入れたりとか、人材を向こうに派遣したりとか、そういう人の動きとか、そういった職員の動きとか、そういうものも想定しているということでしょうか。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。

○企画部長（小泉聖一） 人的なところ、相互協定というような内容もやはり中にあります。

実際にベトナム国籍の方、那須塩原市では3番目に多くお住まいになっているんですね。1番目が中国、2番目がブラジルと、どちらも380、90人。ベトナムも380人くらいいると。3番目といっても大体同じような人数いると。お住まいになってお仕事している方がいるという中で、またカ

ントー市のほうでも、日本語学校があったりということで、日本にある程度は親近感があるというところで、その中で、カントーの大学のほうでのインターンシップの受入れであるとか、あるいは就職じゃないですけども、そういう職というところでの協力というものができればということで、これは、人的な交流になってくるところについては、すぐ協定結んですぐできるかということもあるんですが、いろいろやっぱり制約もあると思いますんで、その辺についても協定を結んだ後に詰めながら、そういう人材の交流というものも考えていきたいと思っています。

○議長（松田寛人議員） 19番、鈴木伸彦議員。

○19番（鈴木伸彦議員） 同じところなんですが、業務委託というところで、330万9,000円かな、これの積算の内訳だけ教えていただけますか。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。

○企画部長（小泉聖一） この業務委託という中に、ベトナムへの渡航費用、飛行機の手配であったり、宿の手配であったり、宿泊代か、宿の手配であったり、現地での滞在する費用であったり、そういう諸経費分を含めた中で、なかなか市の職員が、国内旅行みたく誰か職員が手配してというわけにはいかないものですから、そういう部分の渡航費用についての業務委託というところが、この委託というところの積算の内訳ということになります。

○議長（松田寛人議員） 19番、鈴木伸彦議員。

○19番（鈴木伸彦議員） 委託する項目、まだ項目かと思うんですよ、数字的な内容がもうちょっと聞ければなと思ったんですけども。あと、日数、何日行くのかなとか、3人で行くんだと1人100万円くらいなんですけれども、あちらに行つてどういった行事に参加するとか、そういったあたり、物価も違うんでしょうけれども、その辺は

どういうふうに計画しているのかなと思ひまして、質疑させていただきました。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めているのですか。

質疑の言い方じゃなかったものですから、そういうふうになりましたという形を取ったみたいなので。

○19番（鈴木伸彦議員） 質問の根拠を言ったのですけれども、答弁を求めたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 分かりました。
よろしいですか。
企画部長。

○企画部長（小泉聖一） 日数的には、大体4日程度というところになりますけれども、これは先ほど言ったように、栃木県の行程のほう、ベトナムに滞在する日にちのほうに合わせて、やはりちょっと日程を組まなくちゃいけないというところで、現在調整中であります。

金額的なところについては、先ほど言った内訳の中で、通訳が入ったりとかということで、全部の積算の中でということで、細かい数字的なところというのは、現在ちょっと手元にはないんですけども、その積み上げでこのような委託料の額になっているということになります。

○議長（松田寛人議員） 2番、三本木直人議員。

○2番（三本木直人議員） マイナンバーカードについてお聞きしたいんですけども、ちまたでは、マイナンバーカードを作っちゃうと、税金、全部把握されちゃうから嫌だとか、いろんな噂があるので、マイナンバーカードの優位性とか、注意しなくちゃならない点とか、もしあればありましたら教えていただければと。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。

○企画部長（小泉聖一） マイナンバーカードを取

り扱う上での注意というところなんです、やはり今、三本木さんがおっしゃっているように、個人情報にアクセスできるカードなんで、ただ暗証番号等の設定というのはありますけれども、そういう暗証番号まで含めて、全部情報がほかの他人に行ってしまうと、マイナンバーカードを使われてしまうということで、あくまでも個人情報を管理する中で、まず普通のキャッシュカードとか、クレジットカードと同じように、なくしちゃうと大変なことになっちゃうのかなというところで、管理はちゃんとしっかりやらずにやらなにかなど。

で、税情報が全部分かってしまうというのは、ちょっとどういうふうにやれば分かるかというのは分からないですけれども、現在マイナンバーカードを持っていることによって、住民票とかそういうものを取るときに、自分の個人情報が入っているんで、申請書を書かなくても、それで申請ができるとか、あるいはコンビニで所得証明であったり、印鑑証明であったり、その本人のものは、そのカードがあれば取れると。

あくまでも、本人の個人情報、住所とか名前とか年齢とか、そういうものが入っているものということで、そのカードの中に税情報が入っているわけじゃなくて、税の制度のほうのシステムと、そのカードを使ってその税情報を引き出すために、システム上くっつけければ、そういうのが見られるというような状況になると思うんですけれども、現時点ではいろんなサービスまで、まだひもづいていないところもあるんで、どこまで情報が出てしまうかどうかというのは、申し訳ありません、私もはっきり分かりませんが、先ほど言ったように、キャッシュカードとかそういうものと同じで、暗証番号とそのカードとセットで出ちゃうと、情報が全部流れちゃうというものがありますんで、

大切に扱わなくちゃいけないものかなと思っています。

○議長（松田寛人議員） 2番、三本木直人議員。

○2番（三本木直人議員） 今さらながらのことをちょっとお聞きしたいんですけれども、そもそもこのマイナンバーカードを積極的に国とかこれ、進める意味合いというのか、一体何のためにこれやるんですか。申し訳ありません。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。
企画部長。

○企画部長（小泉聖一） まず、先ほど言ったように、マイナンバーカードを作ったことによって、個人情報というのをそのカード1枚でいろいろな情報のほうにアクセスできるということが、最終的な制度ではあると思います。

また、そのカードのほうに口座情報などひもづけると、何年か前に10万円、一人一人に振り込んだという時のように、個人情報と口座がひもづいていれば、そのカードの個人情報のところに全部入れれば振込ができるとか、そういうようなことにもなる、便利というのか利便性というところですね。わざわざ紙に書いて、申請を出して、また持ってきて確認してとか、そういうものが削減される。これは行政も市民も利便性が高まるということで、マイナンバーカードの普及ということも国のほうでも進めているということでございます。

○議長（松田寛人議員） 1番、堤正明議員。

○1番（堤正明議員） 歳出の3ページのほうですが、先ほど衛生費の環境保全費で省エネ家電等購入促進事業、850件ということで、答弁がございましたが、この850件が年度内、要するに期間を、購入期間がいつからいつまでなのか、あるいは、今年度内か、過去のものも対象になるのかどうかという点と、それから、あと補助内容で、市

内の事業者から購入ということだと思いますけれども、これはチェーン店の中の支店というのも該当するかどうかというのをお聞きしたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） まず、1点目なのでございますけれども、期間は、始まりはちょっと失念しましたが、終わりは年度末で購入して、お住まいになってる家に設置が完了したまでが対象です。購入は10月14日からです。申請は11月10日からです。

あと、もう一個、チェーン店も対象になるかと、チェーン店も市内にお店を持っているのであれば、対象となります。

○議長（松田寛人議員） 1番、堤正明議員。

○1番（堤 正明議員） これは、850件ということですが、その気候変動対策としてのどのような効果を見込んでいるか、お尋ねしたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） 省エネということでもありますんで、全体で電気の使用量が従前に比べて減るという効果を期待しています。それによりまして、二酸化炭素の排出量が全体として57.5t、年間で削減するようなことを見込んでおります。

○議長（松田寛人議員） ほかに質疑ございませんでしょうか。

10番、山形紀弘議員。

○10番（山形紀弘議員） 同じところですが。

県のほうでも恐らく同じようなキャンペーンをやっております。それで、県のほうの補助額が恐らく調べたところによると、キャッシュレスで、例えば金額ではなく、ポイントなんですね。その

辺、ポイントにしている、私たちの自治体は、現金じゃないですか。その辺の整合性は、その辺は考えなかったのかどうか、お伺いします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） 事業を検討した際、県の行った事業に相乗りするということを検討しました。ただ、そうすると余計な費用負担が生じてしまいますので、こちらは従来の補助金交付という手段を選択いたしました。

○議長（松田寛人議員） 10番、山形紀弘議員。

○10番（山形紀弘議員） 省エネ家電というと、イメージすると、エアコンとか電気冷蔵庫とか、照明器具とか、そうすると、エアコンとか設置料とか設置工事費がかかってくるんですけども、この金額の中に設置工事費が含まれた金額なのか、最後にお伺いします。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

気候変動対策局長。

○気候変動対策局長（黄木伸一） 今回はあくまでも、本体費用に対する助成です。

○議長（松田寛人議員） ほかにございませんでしょうか。

9番、小島耕一議員。

○9番（小島耕一議員） マイナンバーカードの普及促進事業費について、積算根拠をお伺いしたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（小泉聖一） マイナンバーカード普及促進事業の積算根拠ということなんですけれども、まず、マイナンバーカードのこの事業の中で、報償費、需用費、役務費、委託料という形で計上しているわけなんですけど、報償費につきましては、マイナンバーカードの商品券というところになっ

ております。これは全部で、1人当たり3,000円という形での計算での計上になっております。

また、委託料については、住民情報、もう既にマイナンバーカードをもらっている人のリストとか、こういうものをまず作成する、宛名のラベルを作成するとか、こういうような業務委託というところが計上されている内容になっております。

それから、印刷、通信費、こちらにつきましては、先ほど言ったリスト、つくったもの、抽出したもののリストの印刷だったり、商品券の送付に合わせてお送りする、ここに書いてありますように通知書だったりというところ、それから郵送料、役務費については郵送料ということで、これ書留になるものですから、1通当たり、やっぱり金券になるんで、書留ということになるんで、やはり郵送料がちょっと高くなってしまいうところでの、一応積算の計上ということになっております。

○議長（松田寛人議員） 9番、小島耕一議員。

○9番（小島耕一議員） 具体的に何人ぐらいのマイナンバーカードの新規者を見込んで積算しているのか、お伺いしたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（小泉聖一） おおむね、現時点で5万8,000人ほど、マイナンバーカードを持っている人がいるという中で、それにプラスして新規として、この期間内で1万2,000人というところ、合計で7万人というところを、今回のこの交付金を使っての事業の中での目標ということにしております。

実際には、マイナンバーカード普及については、国のほうでも100%を目指す、那須塩原市についても100%を目指すというところには変わりはありませんけれども、今まで、8月から10月まで

の伸びとしましては、大体4%ぐらいの新規の増加というところで、それを毎月2.5%、二月だと5%、今までの2か月より多少伸びを、この商品券によりまして見込みまして、そのような設定ということで、取りあえずは、この予算の中では60%というのを設定という形で、予算のほうを計上させていただいております。

○議長（松田寛人議員） 9番、小島耕一議員。

○9番（小島耕一議員） マイナンバーカードを持っている方もいると思うんですけども、申請書を出して、3,000円の商品券をもらうというような形になるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（松田寛人議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（小泉聖一） あくまでも交付と、マイナンバーカードの交付率を上げるということなんで、申請を出して、その後交付するまで若干、1か月から2か月かかってしまうんですけども、交付の際に、新規の人はお渡しする、あるいは郵送すると。で、既にマイナンバーカードを登録している人については、準備が整い次第、大体準備が整ってお送りするのが1月の中旬以降という形にはなってしまうんですけども、ちょうど発送事務をやる事業者のほう、郵便局なんですけど、そこ相談した結果、なかなか年末年始はそこまで手が回らないというところがある。

あと、市のほうとしても、挨拶の中でも市長からもありましたプレミアム付商品券、これが年末年始が使える期間ということで、それが終わってからは使ってもらえるような形だと、いつきに経済のほうも集中しないで、うまく商店のほうにも商品券のほうが回って、経済のほうも少しずつ回せるかなというところで考えて、こういうような準備ということになっております。

○議長（松田寛人議員） ほかにございませんでし

ようか。

〔発言する人なし〕

○議長（松田寛人議員） ないようですので、質疑を終了することで異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松田寛人議員） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終了し、討論を許します。

〔発言する人なし〕

○議長（松田寛人議員） ないようですので、討論を終結することで異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松田寛人議員） 異議なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第76号については、原案のとおり決することと異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松田寛人議員） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

—————◇—————

◎市長挨拶

○議長（松田寛人議員） 以上で令和4年11月那須塩原市議会臨時会議の議事は全て終了いたしました。

閉会に当たり、市長から挨拶があります。

市長。

〔市長 渡辺美知太郎登壇〕

○市長（渡辺美知太郎） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

令和4年度補正予算案件につきましては、慎重に御審議いただき、御決定賜りまして誠にありがとうございます。

さて、11月の上旬で、今、紅葉が最も美しい時

期ではないでしょうか。

11日から那須塩原が舞台の「川のながれに」が全国の、11日は違うんですけども、全国公開されます。塩原の美しい景色、なじみのある食材、そして人々の優しさと、それらが舞台となり、20代の若者が人生の生き方に悩んでいるんですけども、そういった塩原の様々な要素に触れて、再び自分の人生の歩み方を見つめ直すといった映画になります。

これは那須塩原アート369プロジェクトの映画部会が携わったものなんですけれども、11月に先行公開されます。その後、全国公開となるんですけども、この11日から1週間の動員数が全国の上映のスケジュールを決めるらしいので、できれば多くの方に行っていただきたいというふうに思っております。

結びになりますが、25日から12月議会が始まります。コロナ感染対策を徹底して、かつ寒くなってきましたので御自愛いただいて、議会でもまた様々な御指導を賜りたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

○議長（松田寛人議員） 市長の挨拶が終わりました。

—————◇—————

◎散会の宣告

○議長（松田寛人議員） 散会に当たり、私からも御挨拶申し上げます。

本日開催されました令和4年11月那須塩原市議会臨時会議は、提出されました議案につきまして、御協力をいただき、ここに全議案の審議を終了することができました。各位の御協力に対し、心か

からお礼を申し上げます。

これもちまして、本臨時会議を散会いたします。

御苦労さまでした。

散会 午後 2時05分

上記会議録を証するため下記署名する。

令和4年11月10日

議 長 松 田 寛 人

署 名 議 員 玉 野 宏

署 名 議 員 金 子 哲 也